

奈弓連だより

通巻 175号

平成 28 年 9 月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 土谷尚敬 野尻賢司

国民体育大会近畿ブロック大会

奈良県成年男子は総合1位、成年女子は総合2位で、本大会に出場

綾部市総合運動公園弓道場・遠的場にて8月21日(日)に第71回国民体育大会近畿ブロック大会が開催され、奈良県成年男子は総合1位、成年女子は総合2位となり、10月に岩手県奥州市で開催される「希望郷いわて国体」本大会に出場することになりました。開催まで残り1ヶ月を切りましたが、入賞を目指して選手たちは強化練習に励んでいます。本大会に出場する次の監督・選手に声援をお願いします。

成年男子

監督：中井 達夫、奥戸由美

選手：佐藤 聖太、今西 達也、新子 修平

成年女子

監督：白井 礼子

選手：林 秀子、吉岡 瑞紀、揚田 よう子

[近畿ブロック大会結果]

少年男子の部 (1位、2位が本大会出場)

	遠的順位	近的順位	総合順位
大阪府	1位	1位	1位
兵庫県	4位	2位	2位
滋賀県	2位	5位	3位
和歌山県	5位	2位	4位
京都府	3位	6位	5位
奈良県	6位	4位	6位

少年女子の部 (1位、2位が本大会出場)

	遠的順位	近的順位	総合順位
和歌山県	1位	1位	1位
兵庫県	2位	2位	2位
大阪府	3位	3位	3位
京都府	5位	3位	4位
滋賀県	4位	5位	5位
奈良県	6位	6位	6位

成年男子の部 (1位、2位、3位が本大会出場)

	遠的順位	近的順位	総合順位
奈良県	2位	1位	1位
和歌山県	1位	2位	2位
兵庫県	3位	2位	3位
滋賀県	4位	4位	4位
大阪府	5位	4位	5位
京都府	6位	4位	6位

成年女子の部 (1位、2位、3位が本大会出場)

	遠的順位	近的順位	総合順位
大阪府	1位	1位	1位
奈良県	2位	3位	2位
和歌山県	3位	5位	3位
滋賀県	6位	2位	4位
兵庫県	5位	3位	5位
京都府	4位	6位	6位

(事務局 藤岡 順)

全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップ

檀原中(高田、白澤、平松、三浦)が女子団体に5位入賞

第13回全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップが全日本弓道連盟中央道場にて、8月20日(土)、21日(日)に全日本弓道連盟主催で開催されました。47都道府県中、男子42団体、男子個人42名、女子43団体、女子個人43名の選手が参加。今年度は、数年前のように、中央道場と至誠館道場の2会場を同時並行で行う形式で、前日の公開練習でも昨年度よりは矢数をかけて調整することができました。大会初日は開会式でバケツをひっくり返したような豪雨で雷が鳴り響き、一時はどうなることかと思いました。打って変わって二日目は強烈な暑さの中の試合で、天候の変動が激しい大会でした。

そんな中、今年度県勢から女子団体の部で5位入賞を果たすことができました。多くの方々にご協力、応援して頂き、この結果が出せたと思っております。ご指導頂いた連盟の先生方をはじめ、大学、高校の先生・



全国中学生弓道大会の女子団体に5位入賞を果たした檀原中の選手たち。

先輩方に心より感謝申し上げます。県中体連として、次は男女で入賞が果たせるよう精進して参りたいと思います。応援ありがとうございました。奈良県勢の結果は以下の通りです。

[予選結果]

男子個人 8射5中以上で通過

山本康平(天理南中3年)8射3中で予選通過ならず

女子個人 8射5中以上で通過

高田美優(橿原中2年)8射4中で予選通過ならず

男子団体 各人8射計24射の総的中上位16チーム通過

天理南中(松岡、福永、平瀬、山本)

24射6中で予選通過ならず

女子団体 男子と同様

橿原中(高田、白澤、平松、三浦)

24射10中で予選通過

[決勝結果]

女子団体

1回戦 対 石和中(山梨県)

4中 対 4中 同中競射の末 勝利

準々決勝 対 下関中(山口県)

6中 対 8中 で敗退 結果 5位入賞
(中体連 藤原 淳)

**奈良市弓道近的選手権大会兼会長杯争奪戦
会長杯は男子 川西 正人、女子 中西 美津枝
選手に**

9月11日、台風の影響でどんより雲の中、第28回奈良市弓道近的選手権大会 兼 第7回会長杯争奪戦が開催されました。今年は、無段の部の参加者が無く、初・弐段の部、参段の部、四・五段の部、称号の部、計54名の参加者で行われました。

入場口で待機している中、競技に初めて参加し、緊張の面持ちで入場する選手、凜とした雰囲気の中で次の入場を待つ選手、等々。各選手の入場の第一歩に、それぞれの思いを拝見した気がしました。



矢渡は 射手 野尻教士六段、第一介添え 河野五段、第二介添え 山内四段で行われました。

当競技会では、受付・昼食、場内進行、召集・控え、的前審判、記録・集計、掲示、の各役割を毎年ローテーションが生まれ、それぞれの役割を経験し、知る事ができます。

今回、私は初めて場内進行の役をさせて頂きまし



凜とした雰囲気の中、参加者は日ごろの成果を競いました。

た。決勝戦では、担当相互での補足、協力があったことで、記録、的前審判、場内進行の連携が大切であることを痛感しました。瞬時の判断、言動が必要であることは、理解しつつも、緊張感の中、難しいものでした。今回の競技会で、先生方にご指導いただきながら、無事場内進行の役を済ませる事ができ安堵しました。本当にありがとうございました。この競技会で、経験できたことを今後も活かしていきたいと思えます。



左から会長杯を手にした中西選手と川西選手。

[競技会結果]

初弐段の部

- 1位 中川 亨
- 2位 高木 政彦
- 3位 西垣 由香

四・五段の部

- 1位 川西 正人
- 2位 野尻 賢司
- 3位 中西 美津枝

参段の部

- 1位 松尾 謙二
- 2位 三好 正
- 3位 坂本 美智子

称号の部

- 1位 岡本 蔦子
- 2位 明瀬 綾子
- 3位 松村 由喜子

会長杯 男子：川西 正人 女子：中西 美津枝
(奈良支部 村高 恵利子)



日独スポーツ少年団相互交流事業で来日し、奈良県を訪問した7名が奈良市弓道場で弓道の体験をしました。

ドイツスポーツ少年団が弓道体験

平成28年8月4日(木)9時～12時に2016日独スポーツ少年団相互交流事業で来日中のメンバー120名のうち、奈良県を訪れている7名が、ホストファミリーとともに奈良市弓道場で弓道の体験をしました。

テニスの男性2名、水泳の女性3名、馬術の女性1名、ジョギングの女性1名の計7名で16歳から25歳の選手で、体格も16歳とは思えないほどしっかりとしており、大三の補助する時には背が届かず苦労しました。

最初に、自己紹介、中高生教室の5名による演武等を見てもらい、その後弓道について簡単に説明、巻藁場で矢の番え方、弓の引き方の練習をしました。

的前には、矢道から徐々に距離を伸ばして、感覚を習得し、仕上げは道場からの的に向かって矢を放ち、的中する人もおり、ホストファミリーの人たちから大きな拍手があがっていました。

この体験会は、5回目で奈良市弓道協会の肥後さんがドイツ語の通訳をしてくださり、また中高生教室



肥後さんがドイツ語の通訳をしてくださいました。

の畑谷姉妹がドイツ語でコミュニケーションがとれるため、終始和やかでスムーズな進行のもと行われました。このような体験会の機会を与えていただいた奈良県体育協会、奈良市スポーツ振興課、奈良市スポーツ少年団の皆さまに感謝いたします。

(奈良支部 新司 正人)

奈良県定期地連審査

初段75名、貳段5名、参段4名、四段2名が合格

8月28日に橿原公苑弓道場において第265回定期地連審査が開催されました。

[審査結果]

級位 受審者98名 合格82名(1級47、
2級22、3級13、現級12)

初段 受審者120名 合格75名

貳段 受審者12名 合格5名

参段 受審者9名 合格4名

四段 受審者10名 合格2名、

坂本 美智子(奈良) 前川 彰吾(橿原)



仕上げで、的に向かって矢を放ち、的中する人もいました。

[審査申し込みに関する注意事項]

審査申し込みにあたっては次のことをお願いします。

- 審査申込書の記入漏れが多数出ています。
- 2回目以降の審査であれば昇級・昇段歴を記入してください。
- 高校の弓道部員で中学から始めた場合は弓歴に元号、年、月、中学校名と元号、年、月、高校名が必要です。
- 中学・高校の弓道部員の場合は保護者承認と学校責任者承認の両方が必要です。
- ID番号は間違いのないように。

(審査部 平木 一史)

シニア部研修会及び記録会

56名が参加、体配・射技指導を真剣に受講

第2回目のシニア部研修会及び記録会が9月14日(水)、榎原公苑弓道場で56名の参加者で行われました。今年の指導講師は西中会長、吉本名誉会長、阪中理事長、野尻教士六段の先生方に担当いただきました。

午前中は研修会で、ワンポイント体配と射技指導がその内容でした。ワンポイント体配は、入場と退場に絞り、特に歩行中の曲がり方、歩く際の呼吸の取り方、目線などに焦点を絞り指導を受けました。

射技指導は4班に分かれ個別指導です。受講生からは講師の指導を真剣に受けて何とか一段上達したい、課題を克服したいという並々ならぬ熱意がうかがえました。

午後は四つ矢2回の記録会が行われました。



射技指導では受講生は講師から班別に一人一人が個別指導を受けました。歳をとっても課題を克服したいという並々ならぬ熱意がうかがえました。



他の受講生の個別指導の内容を熱心に見取り稽古する受講生たち。

[記録会結果]

級～二段の部	5中	中川 亨
	3中	城市 宣男
	2中	松本 洋子
参段～五段の部	6中	小林 宏樹
	5中	佐藤 昭男、小西 徳子、 能島 美喜子、井戸上 博一
	4中	馬場 雄一、松浦 敏弘、 大井 清源、天野 孝雄、 西尾 信行
	称号者の部	5中 赤松 順次、千葉 健一
	4中 岡本 薫子、小林 保彦、 平 洋介、森 昌彦、 野尻 祥枝、西中 正	
	3中 明崎 静代	

(シニア部 千葉健一)

編 | 集 | 後 | 記

残暑もようやく衰えた14日、シニア部研修会及び記録会に私も参加しました。特別演武では4名の指導講師による持的射礼がありました。豪華な顔ぶれの演武、しかも8射7中という高い的中率でした。挨拶のなかで、吉本先生は、射技指導においては他の受講生が講師からどのような指導を受けているかを横でしっかり学ぶ、見取り稽古の大切さを強調されました。

敬老の日、NHKの番組で、ハーバード大学公衆衛生大学院のカワチ・イチロウ教授は「社会参加と交流が健康にとって大切」と語っていました。その意味から、シニア世代の弓道人が仲間と練習すること、また競技会に参加し、若い世代の人たちと準備をし、役割を果たし、競技することは健康に良いことと再認識しました。

編集担当 野尻賢司